

## 第1回八幡市特別職報酬等審議会 会議録

1. 日時 令和8年4月21日 午前10時～10時40分
2. 場所 八幡市役所4階会議室4-2
3. 出席委員 寺井会長、松田会長代理、石黒委員、稲葉委員、田中委員、横川委員
4. 事務局出席者 寺田政策企画部長、板東人事課長、北出人事課長補佐  
今井人事総括主任

5. 傍聴人 1名

6. 会議録＜要旨＞

(第4回の概要)

- ・ 答申額の試算
- ・ 答申検討時の意見

(答申案の説明)

- ・ 市長等特別職については現行通り、市議会議員の報酬額については5%の減額
- ・ 審議の経過の説明  
市議会議員にも審議会に参加していただくことについて触れている
- ・ 財政状況について  
経常収支比率が高くなっており、今後も財政状況が厳しい
- ・ 社会経済情勢について  
成長型経済について、物価高について説明

・ 各審議会の経過

第2回では市長、市議会議員の活動に関する資料について確認、審議した

第3回では市議会議員が来られ活動等の説明をされ、内容を聞いたうえで審議を行った

第4回ではこれまでの審議を踏まえ市長、副市長、教育長の給与の現状維持、市議会議員に関して5%減額及び議員報酬の観点から1名減の20名とする意見を述べるという結論に達した

総括として、京都府内の14市並びに類似団体との比較を判断基準の中心とする旨を記載。市長、副市長、教育長の給料は増額すべきとの意見も出たが、財政状況を鑑みて現状通り据え置くことが妥当との結論に達した。市議会議員の報酬については、議員活動にも着目し、直接話を伺う機会を設けるなど、議員の状況に踏まえた議論を行った旨を記載。社会保障の仕組み等特別職との違いがあることについて一定理解はしたものの、他市の議員活動との大きな違いや特異性は見られず、報酬を検討する上での判断基準として近隣市や類似団体との比較を中心とすることが妥当である旨を記

載。また、近隣市では物価上昇等に鑑みて議員報酬を引き上げている団体も見られるが、それらと比較してもなお八幡市の議員報酬が高水準であるため減額が妥当である。5%減額と議員定数を1名減で10%減額と同水準の年額となるため、報酬額と議員定数を切り離した審議は困難であり議員定数について意見を述べるという形にしている。

(答申案についての意見)

- ・ 議員定数について  
議員定数自体を答申することは難しいが、報酬額には影響するため総額の観点から意見を述べる
- ・ 市議会議員の減額について  
市民の信頼を確保するために必要  
前回、前々回の答申が遵守されておらず、実際に市議会議員を招いて丁寧に話を聞き議論した
- ・ 判断基準について  
京都府内14市の報酬額を判断基準としており、八幡市議会議員の活動に特異性は見られず近隣団体との比較で報酬水準を決めることに合理性がある  
社会全体物価高騰しており、近隣市が議員報酬を上げてきているが、それでもなお本市の報酬は他市より高額である
- ・ 総括  
前回前々回の答申の結果未実施（1年間の5%減額のみ行われた）  
市民の理解を得るには審議会で示した額の実施遵守が不可避である  
報酬額と議員定数を切り離した審議は困難であり、市民の信頼を確保するためには定数に対する意見を付帯せざるを得ない。

(答申の最終案について)

- ・ 本日の意見を踏まえ再度作成し送付する
- ・ さらに意見等ある場合は事務局に連絡する
- ・ 問題なければ次回市長に対して答申を提出する

(連絡事項)

答申提出の日程（予定）

令和8年5月26日（火）午前11時30分